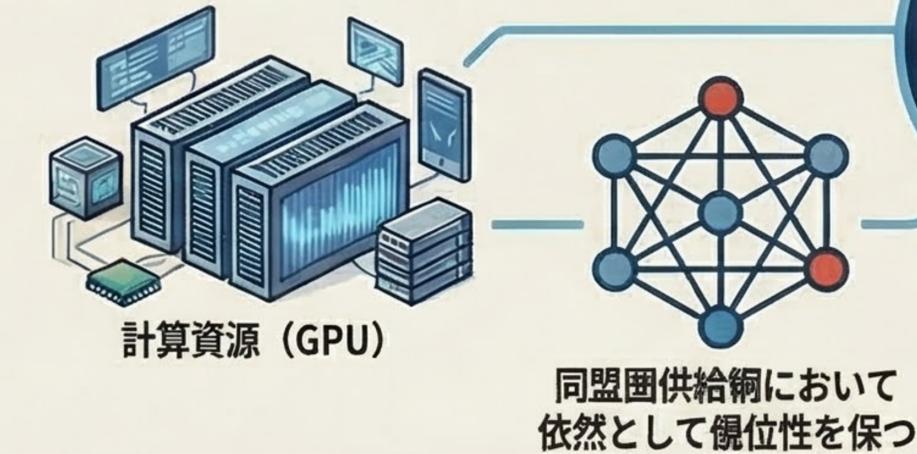


2030年 AI覇権のゆくえ：米中比較と未来シナリオ

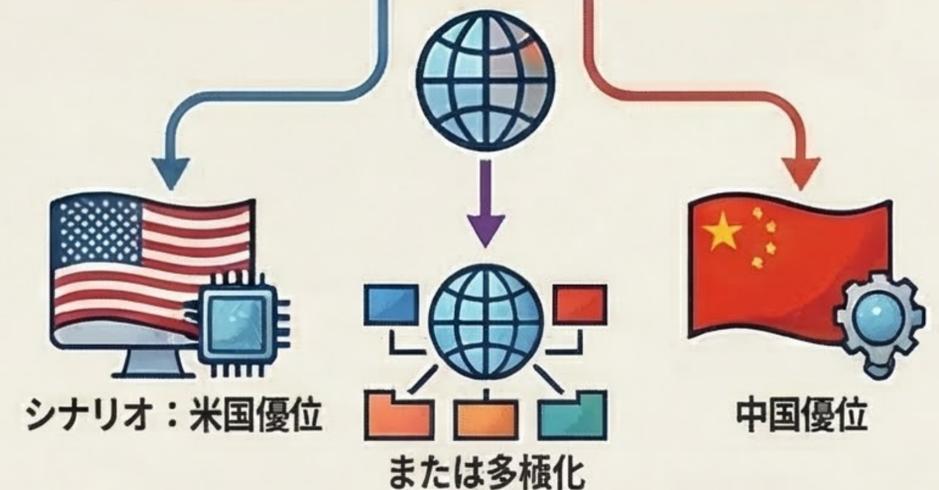
米国：最先端の革新と「計算資本」の優位



中国：圧倒的な研究・特許の「量」と社会実装



2030年に向けた3つの未来シナリオ



共通のボトルネック：電力と計算インフラ



2030年までに両国のデータセンター電力消費は激増し、インフラ確保が覇権の決定図となる。

日本の戦略：冗長性のある国家戦略の構築



国際的な信頼の枠組みを日本がリードし、規範を産業競争力 (信頼の輸出) に転換する。

米中二極のどちらかが突出するほか、地域ごとに最適化が進む「多極化」の可能性が高い。